

韮崎市
こどもまんなかまちづくりセミナー



子と親をまるごと育むまちづくり
～【こども基本法】の理念を
【こども家庭庁】と自治体の連携
多様な機関との協働で実現する～

杏林大学客員教授
こども家庭庁参与
前東京都三鷹市長 (2003年～2019年)
元全国市長会こども子育て施策担当副会長 (2016年～2019年)

清原慶子

0. 今日の内容

1. こども・若者をめぐる現状から考える
2. 【こども家庭庁】設立に向けた検討経過
3. 【こども家庭庁】の基本姿勢と組織について
4. 【こども基本法】と自治体の責務について
5. 【こども家庭庁】が進める当面の課題と
【こども大綱】について
6. 【こども未来戦略】について
7. 【こども応援サポーター宣言】の意義

こども家庭庁の基本姿勢

1. こども家庭庁とは

こども家庭庁のスローガンは「こどもまんなか」。わたしたちはみなさん一人ひとりの意見を聴いてその声をまんなかに置きアクションしていきます。

そしてみなさんにとって最もよいことは何かを考えて、政策に反映していきます。

みなさんや子育てしている人たちの困っていることに向き合い、いざというときに守るための仕組みをつくっていきます。

こども・若者がぶつかるさまざまな課題を解決し、大人が中心になって作ってきた社会を「こどもまんなか」社会へと作り変えていくための司令塔、それがこども家庭庁です。

(こども家庭庁HP、大臣メッセージより)

2. こども家庭庁の役割

(1) こども政策の司令塔としての総合調整

例：少子化対策 など

(2) 省庁の縦割り打破、新しい政策課題や隙間事案への対応

例：こどもの意見反映の仕組み、こどもの居場所、日本版DBSの創設 など

(3) 保健・福祉分野を中心とする事業の実施

例：保育、母子保健、社会的養育、こどもの貧困対策、こどもの自殺対策、虐待防止対策、障害児対策 など

3. こども家庭庁の基本姿勢

(1) こどもや子育て中の方々の視点に立った政策立案

(2) 地方自治体との連携強化

(3) 様々な民間団体とのネットワークの強化

こども・子育てにやさしい社会づくりのための意識改革

こどもまんなか応援サポーター概要

【5月2日スタート 随時活動参加募集】

1 こどもまんなかの趣旨に賛同する。

こどもまんなか社会実現に向けて、賛同した方・団体メンバーご自身がこども若者に対して何ができるのかを考えるきっかけづくり。

2 サポーターご自身が考える「こどもまんなか」なアクションを実行する。

こども・若者に意見を聴き尊重した上で何ができるか、の答えはさまざま、正解はありません。それぞれにできる、こどもまんなかに向けたアクションをぜひお願いします。

アクション例

- ・「こどもかいぎを開いて、こども・若者の意見をきいて〇〇に反映してみた」
- ・「電車の乗り降りで、ベビーカーを優先する」・「トイレの行列など、子連れに順番譲っている」
- ・「荷物を持ってるお子さん連れに、ドアあけてあげる」・「お店に子連れ優先席つくった」

3 ご自身・団体のアクションを発信したり、地域社会に広く参加を呼びかける。

SNS(Twitter、Instagram等) やYouTube上でそれぞれのアクションを **#こどもまんなかやってみた** をつけて発表。

積極的な発信とアクションのご協力をお願いいたします。

こども家庭庁はリツイートやホームページでのご紹介等で拡散とみなさまのアクションの見える化を行います。

みなさんに使っていただける「こどもまんなかマーク」を、こども含めみなさんの投票により決定し作成。ホームページで届け出いただくことによりご活用いただけます。

<https://www.cfa.go.jp/mannaka-mark/>

「こどもまんなか」

こどもや若者の意見を聴き、その意見を尊重し、こどもや若者にとってよいことは何かを考え、自分ができるアクションを実践していきます。どんなこどものことも考えていきます。

全応援サポーター数

488

2023年
9月1日
現在

団体	437	個人	51
都道府県	21	一般個人	37
市区町村	134	著名人	14
都道府県関連	20		
市区町村関連	38		
こども関連施設	166		
企業	51		
その他	7		

活用イメージ
こどもまんなかバッジ

こども
まんなか

